

「Assisted Hatching の有用性について後ろ向き研究」へのご協力をお願い

第二協立病院 ART センターでは下記の内容で後ろ向き研究を実施いたします。診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、末尾の連絡先にご連絡ください。

【研究課題名】

Assisted Hatching に有用性について ～Zona-Free Blastocyst がもたらす臨床効果～

【研究機関名および研究代表者名】

研究機関：第二協立病院 ART センター

研究代表者：生殖医療科 山口賢一

担当業務：データ収集、データ解析、匿名化

【研究の目的と意義】

Assisted Hatching (AHA) は、レーザー照射により胚の透明帯を部分的に除去し、胚盤胞の脱出を促進し、着床率の向上を目的として行われています。本研究では AHA により透明帯を完全に除去した場合に臨床成績へどのような影響を及ぼすかを確認し治療選択のひとつとなりうるかを検討する。

【研究期間】

2023 年 4 月～2025 年 4 月

【対象の患者さん】

2023 年 4 月 1 日から 2025 年 4 月 31 日までに ART センターにて凍結融解胚移植を行った患者さん

【研究の方法】

対象期間に凍結融解胚移植を実施した方の臨床成績を収集します。これらのデータは匿名化した状態で収集し解析を行います。新たに治療、検査を実施することはございません。

情報：年齢、胚の状態、妊娠率、流産率、出生記録

【外部への情報提供・利益相反】

COI 関係にある企業として vivola 株式会社（講演料）

【個人情報の取り扱い】

研究に用いる患者個人情報の保護を行います。研究報告により個人が特定されることはございません。

《問い合わせ先》

研究責任者：山口賢一

〒666-0033 兵庫県川西市栄町 5 番 28 号

第二協立病院 ART センター

Tel. 072-758-1123(病院代表)